

平素は大変お世話になりまして、ありがとうございます。
 今年も皆さまに少しでもお役に立つ情報をお届けできればと思っております。
 今回は追加されるアルコールチェック義務化項目についてお伝えします。



2023年12月からアルコール検知器使用が義務付け！

すでに、2022年4月から義務化されているアルコールチェック業務。対象企業の皆さま方、進捗状況はいかがでしょうか？さらにアルコール検知器使用の義務化再開日が「2023年12月1日」に確定しました。昨年はアルコール検知器の供給不足を背景に一旦延期をされていましたが、いよいよ機材導入が義務付けられます。「現在機材の選定中！」「運用は始めたが効率性を高めたい」「ペーパーレスの運用に変えたい」など、様々な課題があるかと思えます。弊社でも「運転日報やアルコールチェック記録」アプリのご案内が可能です。お悩みの方は是非ご相談ください。

【参考 アルコールチェックの義務化状況】

2003年4月 (施行中)	<ul style="list-style-type: none"> ・運転前後の運転者が酒気を帯びていないか、目視等で確認すること。 ・酒気帯び確認した結果をデータや日誌等で記録し、1年間保存すること。
2003年12月 (今冬義務化)	<ul style="list-style-type: none"> ・運転前後の運転者に対する酒気帯びの有無の確認を国家公安委員会が定めるアルコール検知器を用いて行うこと。 ・アルコール検知器を常時有効に保持すること。



←運転日報アルコールチェックアプリは社用車の運転日報と運転前後の飲酒の有無を、運転者本人がスマートフォンのアプリに記録し、安全運転管理者がその状況をパソコン上で確認できます。紙の管理が不要だからとっても楽ですし、環境にも優しい！ちなみに弊社でも使用中です。ご興味ございましたらお問合せください。

意外と長い！アルコールが体から抜けるまでの時間

ビール	日本酒	ウイスキー	ワイン	チューハイ
500ml (中ビン1本または ロング缶1本)	180ml 1合	60ml (ダブル1杯)	200ml (グラス2杯)	7%のもので350ml

上記のアルコール分解にかかる**平均時間は4～5時間**。『アルコール抜けたと思った』とならないよう、自分の適度なアルコール摂取量を理解していたほうが良いかもしれません！



オンワード・マエノは、インスタグラムをはじめました！社内での出来事や、社員の日常のほか、お役立ち情報をアップしていきます。
 ぜひフォローよろしく願いいたします！